



## 子どもの居場所

地域が取り組む居場所づくり

# 放課後子ども教室

地域の温かさにも包まれた  
子どもたちの居場所

## 子育てを支える 地域の大きな力

子どもが安全に、安心して放課後を過ごすことができるよう、子どもたちの放課後の居場所が必要となっており、

市内には、放課後に子どもたちが安心して過ごすことのできる場所として、市の児童館や放課後児童クラブ、地域の実行委員会が運営する『放課後子ども教室』などがあります。

市内に2カ所ある『放課後子ども教室』は、学校の余裕教室や体育館を活動拠点としており、鷺別小学校では鷺別地区放課後子ども教室『ひなわしメイト』を、幌別東小学校では幌別東小学校区放課後子ども教室『はまなすメイト』を開設。週2回、放課後の子どもの居場所を提供し、地域全体で子どもたちを育んでいます。



▲『放課後子ども教室』で過ごす時間が子どもたちの楽しみとなっている

▼問い合わせ 社会教育グループ  
(☎1129)

▼両教室の利用時間 授業終了後～最長17時（11月1日から3月31日まで）は16時

ネーターやボランティアとして、学校の授業の予習・復習を手伝ったり、学年を問わず体育館で球技や縄とびなどをやる子どもたちを見守りながら一緒に遊んだりしています。

また、各教室で特色あるイベントを実施するなど、子どもが地域の大人やほかの学年の子どもたちと関わる機会を提供しています。

## 放課後子ども教室

## 子どもの居場所



ひなわしメイト実行委員長  
おおごし 大越 和男さん(70歳)

## 子どもたちを地域で 育んでいこう

私がひなわしメイトをはじめた平成20年6月には、児童の登録数は93人でしたが、今では162人にまで増えました。授業を終えた子どもたちが一日50人ほどやってきて、一緒に宿題を済ませ、教室や体育館で遊んでいます。

ここでは百人一首や茶道などの体験、鷺別や登別の歴史を鷺別の山に登って学ぶなどさまざまな活動をしています。子どもたちが大人になったとき、ひなわしメイトで体験したことを思い出し、次の世代へつなげてほしいという思いからです。

良い思い出をつくることも大切ですが、何よりも、ここで学んだこと、体験したことなどを子どもたちの未来に役立ててほしいと思っています。また、学校生活の中で異学年とこれほど関わることでできる場はなかなか無いと思います。上級生が下級生の世

話をするなど学年の垣根を越えて仲良く遊んでいますし、地域とのつながりが薄れる中で、地域の大人との関わりを学ぶことのできる場でもあります。有り余る元気を持つ子どもたちと関わることは体力がいりますが、私は子どもと言葉を交わすことが好きで、子どもたちの持つパワーにいつも元気をもらっています。

以前、ここに通っていた子が高校生になり、顔を出してくれた時、今でもその子の中にひなわしメイトで過ごした記憶が刻まれているのを感じ、うれしく思いました。これまでやってきて良かったと思える瞬間の一つです。

これからも、子どもたちが安心して楽しく過ごせる居場所づくりに取り組み、元気な限り、地域ができることを考え、子どもたちの成長を育むお手伝いをしていきたいですね。